

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-187277

(43) 公開日 平成8年(1996)7月23日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 L 9/00	Z			
A 6 1 K 7/00	C			
7/46	Z			
7/48				
C 1 1 B 9/00	S			

審査請求 未請求 請求項の数9 F D (全 5 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平7-16472

(22) 出願日 平成7年(1995)1月6日

(71) 出願人 000113470

ポーラ化成工業株式会社

静岡県静岡市弥生町6番48号

(72) 発明者 石戸谷 豊昌

神奈川県横浜市神奈川区高島台27番地1

ポーラ化成工業株式会社横浜研究所内

(54) 【発明の名称】 アルコール刺激臭マスキング剤

(57) 【要約】

【構成】 脂肪族エステルからなるアルコール刺激臭マスキング剤、及びこれをアルコールに対し0.1～10重量%含有する香料組成物、化粧品並びに0.01ppm～2000ppm含有する飲食料。

【効果】 本発明のアルコール刺激臭を抑える作用に優れ、これを含有する香料組成物、化粧品、飲食料はアルコールの刺激を感じず好ましい。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 一般式 (I) に表されるエステルからなる*



(I)

*るアルコール刺激臭マスキング剤。

【化1】

但し、 R_1 、 R_2 はそれぞれ独立に分岐していても良い低鎖長アルキル基を表す。

【請求項2】 エステルが酢酸メチル、酢酸エチル、酢酸イソアミルの何れかであるアルコールのアルコール刺激臭マスキング剤。

【請求項3】 アルコールがエタノールである、請求項1又は2記載のアルコール刺激臭マスキング剤。

【請求項4】 請求項1～3の何れか一項に記載のアルコール刺激臭マスキング剤から選ばれる1種以上を含有するアルコール含有香料組成物。

【請求項5】 請求項1～3の何れか一項に記載のアルコール刺激臭マスキング剤から選ばれる1種以上をアルコールに対して0.1～10重量%含有する、請求項4記載のアルコール含有香料組成物。

【請求項6】 請求項1～3の何れか一項に記載のアルコール刺激臭マスキング剤から選ばれる1種以上を含有するアルコール含有化粧料。

【請求項7】 請求項1～3の何れか一項に記載のアルコール刺激臭マスキング剤をアルコールに対して0.1～10重量%含有する、請求項6記載のアルコール含有化粧料。

【請求項8】 請求項1～3の何れか一項に記載のアルコール刺激臭マスキング剤を含有するアルコール含有飲料。

【請求項9】 請求項1～3の何れか一項に記載のアルコール刺激臭マスキング剤をアルコールに対して0.01～2000ppm含有する、請求項8記載のアルコール含有飲料。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明はアルコール刺激臭マスキング剤及びこれを含有するアルコール含有香料、アルコール含有化粧料並びにアルコール含有飲料に関する。

【0002】

【従来の技術】 アルコール取り分けエタノールは溶解性、揮散性、安全性に優れるため、化粧品分野に於いては、香料等の溶媒、脂溶性物質等の可溶性助剤として広く用いられてきた。又、飲食料分野に於いてもアルコール性飲料はその嗜好性から高濃度のアルコールを含有するし、ケーキや漬物には保存性を高める目的で割合高濃度で配合されたりしている。しかしながら、その匂いは強くないとは言うものの、決して万人が好むものではなく、好まない人にとっては大変気になるものであった。この為、これら組成物にアルコールを用いるに当たっては、そのアルコール刺激臭のマスキングには各社色

々と工夫を重ねている。例えば、香料組成物にアルコールを溶媒に用いる場合には、古来より葡萄酒より蒸留して得られたアルコールを用いるのは、この様なアルコールがアルコール刺激臭が低いためであるし、化粧料にアルコールを用いる場合ローズウォーターでマスキングしたりするのもこの様な工夫の一つである。又、飲食料分野に於いては各種のフレーバーによりアルコール刺激臭を消している。又、ウィスキー等を長期間熟成させるのも、一つにはアルコールを充分水和させ、刺激臭を抑える効果をきたいしている部分がある。しかしながら、これらの方法では何れも充分とは言えず、ことに比較的室温が高い場合などは強くアルコール刺激臭を感じてしまうことが多かった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 本発明はかかる状況に鑑みて為されたものであり、アルコールのアルコール刺激臭をマスクし得るアルコール刺激臭マスキング剤及びこれを含有するアルコール含有香料、アルコール含有化粧料並びにアルコール含有飲料を提供することを課題とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】 この様な状況を踏まえて、本発明者はアルコール刺激臭マスキング作用を指標に各種化学物質について広くスクリーニングを実施した結果、酢酸メチル、酢酸エチル、酢酸イソアミルにその様な作用が強いことを見だし発明を完成させた。

【0005】 即ち、本発明は酢酸メチル、酢酸エチル、酢酸イソアミルに代表されるエステルからなるアルコール刺激臭マスキング剤及びこれらから選ばれる1種以上を含有するアルコール含有香料、アルコール含有化粧料並びにアルコール含有飲料に関する。

【0006】 以下、本発明について詳細に説明する。

(1) 本発明のアルコール刺激臭マスキング剤 本発明のアルコール刺激臭マスキング剤は酢酸メチル、酢酸エチル、酢酸イソアミルに代表される一般式 (I) に示されるエステルからなる。ここで言うアルコールとは、主として低級アルコールをさし、例えばエタノールをはじめとするメタノール、プロパノール、イソプロパノール、ブタノール、イソブタノール、ターシャリーブタノール等の炭素数1～4の分岐又は直鎖の脂肪族アルコールを言う。本発明のアルコール刺激臭マスキング剤である、酢酸メチル、酢酸エチル、酢酸イソアミルに代表される一般式 (I) に示されるエステルは何れもかか

るアルコール刺激臭をマスクする作用に優れる。これらの内で最も好ましいものは酢酸エチルである。これは、本発明のアルコール刺激臭マスクング剤の中で最もマスクング作用に優れるからである。又、本発明のアルコール刺激臭マスクング剤はこれらの中から選ばれる1種を単独で用いても良いし、2種以上を混合して用いても良*



但し、 R_1 、 R_2 はそれぞれ独立に分岐していても良い低鎖長アルキル基を表す。

【0008】本発明のアルコール刺激臭マスクング剤がその作用を有効に発現する濃度は、アルコールの種類、室温などの環境条件、他の香料や香辛料などの存在などにより異なるが、香粧品等のように嗅覚のみを介する場合、概ねアルコールに対して0.1~10重量%である。このうち、作用が顕著であり、且つ溶解性などの低級アルコールの持つ物性を損なわない、0.5~5重量%が更に好ましい。又、飲食料のように嗅覚と味覚を介する場合、0.01ppm~2000ppmが好ましく、更に0.1ppm~500ppmが好ましい。これは、嗅覚と味覚を介する場合の方が、本発明のアルコール刺激臭マスクング剤の効果が著しいためである。

【0009】(2)本発明のアルコール含有香料組成物本発明のアルコール含有香料組成物は上記アルコール刺激臭マスクング剤を含有することを特徴とする。香料組成物はその溶媒としてエタノールを用いることが多く、本発明のアルコール刺激臭マスクング剤を添加することによりこの溶媒として用いているエタノールの低級アルコール臭をマスクすることが出来る。本発明のアルコール刺激臭マスクング剤の好ましい含有量であるが、これは香料の種類により異なるが、概ね、溶媒として使用しているアルコールに対して0.1~10重量%である。これは、0.1重量%未満では作用が不十分な場合があり、10重量%を越えるとアルコールの溶媒効果を損なうことがあるからである。このうち、作用が顕著であり、且つ溶解性などの低級アルコールの持つ物性を損なわない、0.5~5重量%が更に好ましい。かくして得られた香料組成物は、香粧品原料として用いると、得られた香粧品に於いてアルコール刺激臭がマスクされてい

て、使用する上で大変好ましい。

【0010】(3)本発明のアルコール含有化粧料本発明のアルコール含有化粧料は上記アルコール刺激臭マスクング剤を含有することを特徴とする。化粧料はその溶媒としてエタノールを用いることが多く、本発明のアルコール刺激臭マスクング剤を添加することによりこの溶媒として用いているエタノールのアルコール刺激臭をマスクすることが出来る。本発明のアルコール刺激臭マスクング剤の好ましい含有量であるが、これは他の化粧品原料の種類により異なるが、概ね、溶媒として使用

*い。これらは何れも低級アルコールと酢酸に代表される有機酸のエステルであるため、体内に於いてもメタノール、エタノール、酢酸等を生ずるのみで、安全性は高い。

【0007】

【化2】

している低級アルコールに対して0.1重量%~10重量%である。これは、0.1重量%未満では作用が不十分な場合があり、10重量%を越えると低級アルコールの溶媒効果を損なうことがあるからである。このうち、作用が顕著であり、且つ溶解性などの低級アルコールの持つ物性を損なわない、0.5~5重量%が更に好ましい。かかる化粧品としては、化粧水、乳液、クリーム等の基礎化粧料、ヘアトニック、ヘアリキッド、ヘアスプレー等のヘア化粧料、ファンデーション、ネイルカラー等のメイクアップ化粧料、オーデコロン、香水等のフレグランス化粧料が例示できる。本発明の化粧料は、低級アルコールと本発明の低級アルコール臭マスクング剤以外に、通常化粧料で用いられている化粧品原料を含有することが出来る。この様な化粧品原料としては、ワセリン、スクワラン等の炭化水素類、ホホバ油、カルナウバワックス等のエステル類、オリーブ油、牛脂等のトリグリセライド類、セタノール、オレイルアルコール等の高級アルコール類、ステアリン酸、オレイン酸等の脂肪酸類、グリセリン、1,3-ブタンジオール等の多価アルコール類、パラベン等の防腐剤、ビタミンE、BHT等の抗酸化剤、p-アミノ安息香酸誘導体などの紫外線吸収剤、色剤、粉体類、水、増粘剤、ポエチエングリコール等の水溶性高分子、各種有効成分、香料等が挙げられる。これらは本発明のアルコール刺激臭マスクング剤とアルコールと共に通常の方法にしたがって、乳化、可溶化、分散、成型などされ化粧料へと製剤化される。

【0011】(4)本発明のアルコール含有飲食料本発明のアルコール臭マスクング剤は、通常アルコールを含有させて用いる漬物、ケーキ等の保存性食品やウィスキーや焼酎、清酒等のアルコール性飲料にも、香料組成物や化粧品と同様に配合できる。配合量は、味覚も関与している分低濃度で良く0.01~2000ppmが好ましく、更に好ましくは0.1~500ppmである。これらの場合配合するアルコールに予め配合しても良いし、途中でアルコール量を定量などした上で、必要量を加えても構わない。かくして得られた飲食料はアルコール臭がマスクングされているため、優れた食味を有するようになる。

【0012】

【実施例】以下に、実施例を挙げて更に詳しく本発明について説明するが、本発明がこれら実施例に限定されないことは言うまでもない。

【0013】実施例1

アルコール刺激臭マスキング作用

本発明のアルコール刺激臭マスキング剤のマスキング作用を、専門パネラーを用いて調べた。即ち、これら本発明のアルコール刺激臭マスキング剤の各種濃度の60%エタノール水溶液の溶液を作成し、ダブルブラインドで調香師に、○：アルコール刺激臭を感じない、△：アルコール刺激臭をやや感じる、×：アルコール刺激臭を感じるの三段階で評価して貰った。尚、コントロールとしてはフェネチルアルコールを用いた。結果を表1に示す。これより、本発明のアルコール刺激臭マスキング剤は、アルコール刺激臭のマスキング作用に優れている事が判る。

【0014】

【表1】

物質	1%	0.5%	0.2%	0.1%
酢酸エチル	○	○	○	△
酢酸メチル	○	○	○	△
酢酸イソアミル	○	○	○	△

【0015】実施例2

香料組成物

下記の処方に基づいて香料組成物を作成した。即ち、処方成分を室温で混合、可溶化し香料組成物を得た。以下、処方の数値は重量部を表すものとする。このものについて、専門パネラーによる評価をして貰ったところ、アルコール刺激臭を感じないと言う評価を得た。

フェネチルアルコール 20

リナリルアセテート 10

フェネチルアルコール

リナリルアセテート

ベンジルサリチレート

アルデヒド C-10

ギラクソイド

酢酸エチル

エタノール

【0019】実施例6

香料組成物

実施例2と同様に香料組成物を得た。専門パネラーの評価は、アルコール刺激臭を感じないと言う事だった。

フェネチルアルコール 20

リナリルアセテート 10

ベンジルサリチレート 5

アルデヒド C-10 4

ギラクソイド 0.5

*ベンジルサリチレート

アルデヒド C-10

ギラクソイド

酢酸エチル

エタノール

【0016】実施例3

香料組成物

実施例2と同様に香料組成物を得た。専門パネラーの評価は、アルコール刺激臭を殆ど感じないと言う事だった。

フェネチルアルコール

リナリルアセテート

ベンジルサリチレート

アルデヒド C-10

ギラクソイド

酢酸メチル

エタノール

【0017】実施例4

香料組成物

実施例2と同様に香料組成物を得た。専門パネラーの評価は、アルコール刺激臭を殆ど感じないと言う事だった。

フェネチルアルコール

リナリルアセテート

ベンジルサリチレート

アルデヒド C-10

ギラクソイド

酢酸イソアミル

エタノール

【0018】実施例5

香料組成物

実施例2と同様に香料組成物を得た。専門パネラーの評価は、アルコール刺激臭をやや感じると言う事だった。

20

10

5

4

0.94

0.06

60

酢酸エチル

エタノール

【0020】実施例7

オーデコロン

実施例6の香料組成物を用いてオーデコロンを作成した。処方は下記に示す。製法は処方成分を室温で攪拌可溶化し、濾過してオーデコロンとした。このものについての専門パネラーの評価は殆どアルコール刺激臭を感じないと言う事であった。

	7		8
実施例6の香料組成物	20	ウィスキーのテイスティング	
エタノール	50	市販のウィスキーを用い、ウィスキー全量に対し100	
水	30	ppm、酢酸エチルを添加したものと水を同量添加した	
【0021】実施例8		ものを用意し、ダブルブラインドで飲み易さを比較し	
使用テスト		た。パネラーはウィスキー好きの人5名を用いた。結果	
実施例7のオーデコロンとこのものから酢酸エチルを除き水に置き換えたオーデコロン（比較例）とを用いて、任意に選出した8名のパネラーで、香りの柔らかさを指標に2者の比較の使用テストをした。パネラー全員が実施例の方がマイルドな香りであると答えた。このことより本発明のアルコール刺激臭抑制剤はアルコールの刺激臭を良く抑えている事が判る。		は、4名が酢酸エチル添加の方が飲み易いと答えた。これより、本発明のアルコール刺激臭抑制剤はアルコール含有飲料のアルコールによる刺激を抑えている事が判る。	
【0022】実施例9		【0023】	
		【発明の効果】本発明のアルコール刺激臭抑制剤は、アルコールによる刺激を良く抑制するため、アルコールを含有した化粧品、飲食料に大変有益である。	

フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁶

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

C 1 2 G 3/08



Technical Language Service

Translations From And Into Any Language

JAPANESE / ENGLISH TRANSLATION OF

Source: Japanese Patent Application JP 8 – 187277 A

Title of the Invention: Agent for Masking Irritating Alcohol Odor

Your Ref #: No. 3371

**For: Eastman Chemical Company -
Library and Information Services (LibrIS)**

(51)	Int. Cl. ⁶	Class. Symbols	Internal Office Registration Nos.	FI	Technical Classification Field
	A61L 9/00	Z			
	A61K 7/00	C			
	7/46	Z			
	7/48				
	C11B 9/00	S			

Request for Examination: Not yet submitted

Number of Claims: 9 (FD)

(Total of 5 pages [in original])

(Continued on last page)

(21)	Application No.: 7-16472	(71)	Applicant: 000113470
(22)	Date of Filing: January 6, 1995		Pola Chemical Industry, Inc.
			6-48 Yayoi-cho, Shizuoka-shi, Shizuoka-ken
		(72)	Inventor: Tomoyasa Ishidoya
			c/o Yokohama Laboratory
			Pola Chemical Industry, Inc.
			27 banchi 1, Takashima-dai, Kanagawa-ku
			Yokohama-shi, Kanagawa-ken

(54) [Title of the Invention] Agent for Masking Irritating Alcohol Odor**(57) [Summary]**

[Composition] An agent for masking an irritating alcohol odor, composed of an aliphatic ester; an aromatic composition and a cosmetic obtained by adding the agent to alcohol in an amount of 0.1 to 10 wt%; and a food/beverage product containing 0.01 to 2000 ppm of agent.

[Effects] The agent of the present invention is effective in suppressing an irritating alcohol odor; and aromatic compositions, cosmetics, and food/beverage products containing the agent do not produce any irritating alcohol odor and have improved quality.

[Claims]

[Claim 1] An agent for masking an irritating alcohol odor composed of an ester shown in General Formula (I).

[Chemical Formula 1]



In the formula, R₁ and R₂ are each independently an optionally branched short-chain alkyl group.

[Claim 2] An agent for masking an irritating alcohol odor of an alcohol, said agent containing an ester selected from the group consisting of methyl acetate, ethyl acetate, and isoamyl acetate.

[Claim 3] The agent for masking an irritating alcohol odor as defined in Claim 1 or 2 in which the alcohol is ethanol.

[Claim 4] An alcohol-containing fragrance composition containing one or more of the agents for masking an irritating alcohol odor as defined in any of Claims 1 through 3.

[Claim 5] The alcohol-containing fragrance composition as defined in Claim 4 containing one or more of the agents for masking an irritating alcohol odor defined in any of Claims 1 through 3 in an amount of 0.1-10 wt% with respect to the alcohol.

[Claim 6] An alcoholic cosmetic containing one or more of the irritating alcohol odor masking agents selected from those defined in any of Claims 1 through 3.

[Claim 7] An alcoholic cosmetic as defined in Claim 6 containing the agent for masking an irritating alcohol odor defined in any of Claims 1 through 3 in an amount of 0.1-10 wt% with respect to the alcohol.

[Claim 8] An alcoholic food/beverage product containing the agent for masking an irritating alcohol odor defined in any of Claims 1 through 3.

[Claim 9] The alcoholic food/beverage product as defined in Claim 8 containing, with respect to the alcohol, 0.01-2000 ppm of the agent for masking an irritating alcohol odor defined in any of Claims 1 through 3.

[Detailed Description of the Invention]

[0001]

[Technological Field of the Invention] The present invention relates to an agent for masking an irritating alcohol odor, as well as an alcoholic perfume, alcoholic cosmetic, and alcoholic food/beverage product containing same.

[0002]

[Prior Art] Alcohol, and particularly ethanol, has come to be widely used in the cosmetic fragrance field as a solvent for perfumes and other substances, as well as a solubilization promoter for lipophilic substances and other substances due to its excellent solubility, volatility, and safety. High-concentration alcohol is also used in the foodstuff/beverage field in alcoholic beverages to

provide palatability, and is compounded in proportionally high concentrations in order to increase the shelf life of such items as cakes and pickled goods. However, the alcoholic odor, though not strong, is not one that everyone enjoys, and has been a highly contentious aspect for those who do not enjoy it. For this reason, many companies have created various techniques to mask the irritating odors created when alcohol is used in these compositions. For example, if the alcohol is to be used as a solvent for fragrance compositions, alcohol obtained by distilling wine using traditional methods is used since such alcohol has less of an irritating odor; and if the alcohol is to be used in a cosmetic, rosewater is employed for masking purposes. In the foodstuffs/beverage field, a variety of flavorings are used to remove the irritating alcohol odor. Furthermore, ageing whiskey or the like for an extended period adequately hydrates the alcohol, while also having the anticipated effect of suppressing the irritating odor. However, none of these methods can be regarded as adequate; in particular, a highly irritating alcohol odor is often inevitably encountered at relatively high room temperatures.

[0003]

[Problems to Be Solved by the Invention] The present invention was completed in view of the foregoing circumstances, and it is an object thereof to provide an agent for masking an irritating alcohol odor able to mask the irritating odor of alcohol; and an alcoholic aromatic product, an alcoholic cosmetic, and an alcoholic food/beverage product containing the agent.

[0004]

[Means Used to Solve the Above-Mentioned Problems] Having taken into account the abovementioned circumstances, the present inventors perfected the invention by carrying out extensive screenings concerning various chemical substances that indicated an effect of masking the irritating alcohol odor, and as a result discovered that methyl acetate, ethyl acetate, and isoamyl acetate had a strong effect in this regard.

[0005] Specifically, the present invention relates to an agent for masking an irritating alcohol odor, composed of an ester as represented by methyl acetate, ethyl acetate, and isoamyl acetate; and to an alcoholic aromatic product, an alcoholic cosmetic, and an alcoholic food/beverage product that contain one or more of the agents.

[0006] The present invention will subsequently be described in detail.

(1) Agent for masking an irritating alcohol odor of the present invention

The agent for masking an irritating alcohol odor of the present invention is composed of the ester shown in General Formula (I), which is represented by methyl acetate, ethyl acetate, and isoamyl acetate. The term "alcohol" as it is used herein refers mainly to lower alcohols, examples of which include ethanol, methanol, propanol, isopropanol, butanol, isobutanol, tertiary butanol, and other C₁-C₄ branched or linear aliphatic alcohols. Each of the esters shown in General Formula (I), which are represented by methyl acetate, ethyl acetate, and isoamyl acetate, and are the agent of the present invention, are highly effective in masking irritating alcohol odors. Ethyl acetate is ideal among these, which is because it has the most exceptional masking effect among the agents for masking irritating alcohol odors of the present invention. In addition, the agent of the present invention may be a single ester selected from among these, or a mixture of two or more thereof. All are esters of organic acids represented by lower alcohols and acetic acid, and are accordingly very safe *in vivo* as well since only methanol, ethanol, and acetic acid will be produced.

[0007] [Chemical Formula 2]



In the formula, R₁ and R₂ are each independently an optionally branched short-chain alkyl group.

[0008] The concentration at which the agent for masking an irritating alcohol odor of the present invention effectively exhibits its effect will vary according to the type of alcohol, the room temperature and other environmental conditions, the presence of other fragrances or spices, and other such factors; however, when only the olfactory sense is the mediating factor, such as with perfumes or the like, the agent is typically added in the amount of 0.1 to 10 wt% with respect to the alcohol. Within this range, the effect is pronounced, while the solubility and other such physical properties of lower alcohols are not compromised; 0.5 to 5 wt% is even more preferable. In addition, when both the olfactory and gustatory senses are mediating factors, such as with foodstuffs and beverages, the agent is preferably added in an amount of 0.01 to 2000 ppm, and more preferably 0.1 to 500 ppm, due to the fact that the agent for masking irritating alcohol odors of the present invention has a dramatic effect when both the olfactory and gustatory senses are mediating factors.

[0009] (2) Alcohol-containing fragrance composition of the present invention

The alcohol-containing fragrance composition of the present invention is characterized in containing the abovementioned agent for masking an irritating alcohol odor. Ethanol is often used as a solvent in fragrance compositions. The lower-alcohol odor of the solvent ethanol can be

masked by adding the agent of the present invention. The amount in which the agent for masking irritating alcohol odors of the present invention is compounded will differ according to the type of fragrance used, but in general is preferably 0.1 to 10 wt% with respect to the solvent alcohol. This is because the effect may be inadequate if the amount is less than 0.1 wt%, and the solvent effect of the alcohol may be compromised if the amount exceeds 10 wt%. Within this range, the effect is pronounced, while the solubility and other such physical properties of lower alcohols are not compromised; 0.5 to 5 wt% is even more preferable. If the fragrance composition is used as a raw material for perfume, the irritating alcohol odor will be masked in the resulting perfume, which is highly preferable from a utilitarian perspective.

[0010] (3) Alcohol-containing cosmetic of the present invention

The alcohol-containing cosmetic of the present invention is characterized in containing the abovementioned agent for masking an irritating alcohol odor. Ethanol is often used as a solvent in cosmetics. The irritating alcohol odor of the solvent ethanol can be masked by introducing the agent of the present invention. The amount in which the agent for masking irritating alcohol odors of the present invention is compounded will differ according to the type of other cosmetic raw materials are used, but in general is preferably 0.1 to 10 wt% with respect to the lower-alcohol solvent. This is because the effect may be insufficient if the amount is less than 0.1 wt%, and the solvent effect of the lower alcohol may be compromised if the amount exceeds 10 wt%. Within this range, the effect is pronounced, while the solubility and other such physical properties of lower alcohols are not compromised; 0.5 to 5 wt% is even more preferable. Examples of such cosmetics include lotion, emulsions, crèmes, and other basic cosmetic products; hair tonics, hair liquids, hair sprays, and other hair-care products; foundations, nail polishes, and other makeup cosmetics; and colognes, perfumes, and other fragrance cosmetics. The cosmetic of the present invention may contain any cosmetic raw material normally used for cosmetics other than lower alcohols and the agent for masking the irritating lower alcohol odor of the present invention. Examples of such cosmetic raw materials include petroleum jelly, squalene, and other hydrocarbon [sources]; jojoba oil, carnauba wax, and other ester [sources]; olive oil, beef tallow, and other triglyceride [sources]; cetanol, oleyl alcohol, and other higher alcohols; stearic acid, oleic acid, and other aliphatic acids; glycerin, 1,3-butanediol, and other polyhydric alcohols; paraben and other preservatives; vitamin E, BHT, and other antioxidants; *p*-aminobenzoic acid derivatives and other UV absorbers; colorants; powders; water; thickeners; polyethylene glycol and other water-soluble polymers; various active ingredients; and fragrances. These raw materials,

along with an alcohol and agent for masking an irritating alcohol odor of the present invention, are emulsified, solubilized, dispersed, molded, and otherwise processed according to common methods to yield a cosmetic product.

[0011] (4) Alcohol-containing foodstuff/beverage of the present invention

The agent for masking irritating alcohol odors of the present invention can be compounded with pickled goods, cakes, and other storable

foodstuffs that usually contain alcohol, as well as with whiskey, distilled spirits, sake, and other alcoholic beverages in the same manner as when compounded with fragrance compositions and cosmetics. The agent should be compounded in a low concentration where the taste is also a contributing factor, and is preferably 0.01 to 2000 ppm, with 0.1 to 500 ppm being particularly favorable. In such instances, the agent may be compounded in advance with the alcohol to be compounded, or during the process a fixed amount of alcohol may be used, and the necessary amount of agent added. The foodstuff/beverage obtained in this manner has excellent flavor because the odor of alcohol is masked.

[0012]

[Working Examples] The present invention will subsequently be described in further detail using working examples; however the present invention shall not be limited to these examples.

[0013] Working Example 1

Alcohol-odor masking effect

The masking effect of the agent for masking irritating alcohol odors of the present invention was investigated using a panel of specialists. Namely, solutions were prepared with the agent of the present invention being used in a variety of concentrations in an aqueous solution of 60% ethanol, and perfumiers evaluated the solutions in a double-blind study according to three levels: no irritating alcohol odor detected (O), slight irritating alcohol odor detected (Δ), and irritating alcohol odor detected (\times). Phenethyl alcohol was used as a control. The results are shown in Table 1. It is apparent from the results that the agent of the present invention has an excellent action in masking irritating alcohol odor.

[0014]

[Table 1]

Substance	1%	0.5%	0.2%	0.1%
Ethyl acetate	○	○	○	Δ
Methyl acetate	○	○	○	Δ
Isoamyl acetate	○	○	○	Δ

[0015] Working Example 2

Fragrance composition

A fragrance composition was formed according to the following formula. Specifically, the formula components were combined at room temperature and solubilized to yield a fragrance composition. The numerical values in the following formula represent parts by weight. Upon evaluating the aromatic composition, the panel of specialists concluded that no irritating alcohol odor could be detected.

Phenethyl alcohol	20
Linalyl acetate	10
Benzyl salicylate	5
Aldehyde C-10	4
Galaxolide	0.4
Ethyl acetate	0.6
Ethanol	60

[0016] Working Example 3

Fragrance composition

A fragrance composition was obtained using the same method as Working Example 2. The panel of specialists concluded that irritating alcohol odors were nearly undetectable.

Phenethyl alcohol	20
Linalyl acetate	10
Benzyl salicylate	5
Aldehyde C-10	4
Galaxolide	0.4
Methyl acetate	0.6
Ethanol	60

[0017] Working Example 4

Fragrance composition

A fragrance composition was obtained using the same method as Working Example 2. The panel of specialists concluded that irritating alcohol odors were nearly undetectable.

Phenethyl alcohol	20
Linalyl acetate	10
Benzyl salicylate	5
Aldehyde C-10	4
Galaxolide	0.4
Isoamyl acetate	0.6
Ethanol	60

[0018] Working Example 5

Fragrance composition

A fragrance composition was obtained using the same method as Working Example 2. The panel of specialists concluded that irritating alcohol odors were somewhat detectable.

Phenethyl alcohol	20
Linalyl acetate	10
Benzyl salicylate	5
Aldehyde C-10	4
Galaxolide	0.94
Ethyl acetate	0.06
Ethanol	60

[0019] Working Example 6

Fragrance composition

A fragrance composition was obtained using the same method as Working Example 2. The panel of specialists concluded that irritating alcohol odors were not detectable.

Phenethyl alcohol	20
Linalyl acetate	10
Benzyl salicylate	5
Aldehyde C-10	4
Galaxolide	0.5
Ethyl acetate	3
Ethanol	57.5

[0020] Working Example 7

Cologne

A cologne was produced using the fragrance composition of Working Example 6. The formula is shown below. The cologne was produced by solubilizing the formula components under stirring at room temperature, and filtering the resulting solution. The panel of specialists concluded that irritating alcohol odors were nearly undetectable in the cologne.

Fragrance composition of Working Example 6	20
Ethanol	50
Water	30

[0021] Working Example 8

Use test

The cologne obtained in Working Example 7 and the same cologne with water substituted for the ethanol (comparative example) were employed in a usage test in which both were compared by eight panelists who were arbitrarily chosen using subtlety of scent as an index. All of the panelists responded that the cologne of the working example had a milder scent. It can be concluded from these results that the agent for controlling irritating alcohol odors of the present invention effectively suppresses irritating alcohol odors.

[0022] Working Example 9

Whiskey tasting

A commercially available whiskey was used in a double blind study to compare drinking smoothness, with one sample having been prepared by adding ethyl acetate in an amount of 100 ppm relative to the entire amount of whiskey and another sample having been prepared by adding water in the same amount. The panel consisted of five whiskey enthusiasts. Four of them responded that the sample in which ethyl acetate had been added was smoother to drink. It can be

concluded from these results that the agent for controlling irritating alcohol odors of the present invention suppresses the irritation caused by alcohol in alcoholic beverages.

[0023]

[Effect of the Invention] The agent for controlling irritating alcohol odors of the present invention effectively suppresses the irritation caused by alcohol, and is thus extremely advantageous in alcohol-containing cosmetics and foodstuffs/beverages.

Continued from front page

(51)	Int. Cl. ⁶	Class. Symbols	Internal Office Registration Nos.	FI	Technical Classification Field
	C12G	3/08			